

増築棟の目指す姿（案）

① 来庁からお帰りになるまでの全ての時間を快適に過ごせる庁舎

- ・来庁者の動線に配慮して窓口を配置し、分かりやすく利用しやすい庁舎を目指します。
- ・来庁者の皆様が安心して快適に過ごせるよう、プライバシーの保護やユニバーサルデザインを考慮した庁舎を目指します。

② 災害時の拠点となる、安全・安心な庁舎

- ・高い耐震性を確保するとともに、洪水時においても業務の継続を可能とするための対策を講じた災害に強い庁舎を目指します。
- ・発災後も庁舎機能を維持することができるよう、ライフラインの確保された庁舎を目指します。

③ 環境にやさしく経済的な庁舎

- ・自然エネルギーの活用を考慮したデザインや高効率な省エネ機器を取り入れることにより、エネルギー効率の高い庁舎を目指します。
- ・再生可能エネルギーをはじめとする様々な技術を導入し、温室効果ガスの削減を図るとともに、庁舎のZEB化を目指します。

④ スマートで快適な庁舎

- ・様々なICT技術を導入し、業務の効率化を図るとともに、リモートワークをはじめとしたABWの考え方を念頭に、職員の多様な働き方の実現を目指します。
- ・組織改編や職員の異動などにも、速やかに対応できる柔軟な執務室のレイアウトを目指します。
- ・職員のコミュニケーションの活性化、心身のリフレッシュを図るためのスペースなどを備えた快適な執務室の環境整備を目指します。